

The logo features the text "Kawasaki" in a large, bold, black sans-serif font, with "Team Green" in a smaller, bold, black sans-serif font directly below it. To the right of the text is a large, stylized green swoosh that curves from the top right towards the bottom right, partially enclosing the text.

Kawasaki
Team Green

Ninja Team Green Cup
2023

車両規則及び参加規則



2023年2月21日 第3版 発行
2023年4月20日 第4版 発行

Ninja Team Green Cup

車両規則及び参加規則

参加される方は、必ずご理解ください。

本規則はMFJ国内競技規則を基に、Ninja Team Green Cup用に追加、変更を加えた規則であり、公道走行用モデルをベースに、安全性、平等性、経済性を考慮したレースの実施が目的である。全ての車両は全ての要素において、本規則に適合してはならない。本規則に明記されていない、または許可されていないものについては、一切の改造・変更は許可されない。ただし、公認された車両が本規則の仕様に合致しない場合は、公認車輛の仕様が優先される。なお、車両が不適格と判断された場合など、出走を認められないことやペナルティ（失格・罰金等）が、大会審査委員会から科せられることを必ず理解すること。

主なレース関係者と組織内容 (詳細はMFJ国内競技規則に記載)

- 1. 主催者** 当該サーキットのレース運営を行う組織(レース事務局を含む)。
- 2. 競技監督** 車検長、コース長、進行長などの競技役員(オフィシャル)を総括し、レースを規則に則って運営、管理をする。競技役員の総責任者であるが、罰則を科す権限はない。
- 3. 審査委員会** その競技開催期間内に起こった違反行為や抗議に関する審理権を有し、参加者と競技役員、ならびに主催者に対しても罰則などの裁定を下せる唯一の独立した機関である。
- 4. レースディレクター** そのレースに対して、競技役員や審査委員会へ要請、参加者への指導や管理を行う権限は有するが、レース内容の裁定権限は持たない。
- 5. メーカー** レースに関するアドバイス、サポートはできるが、車両を含みレース内容の裁定権限は持たない。

目次

主なレース関係者と組織内容	1
シリーズランキングの導入	1
カテゴリ	2
出場車両	2
排気量	2
排気音	2
出場要件	2
仕様	2
A. 基本仕様	2
B. レースのために取り外しても良い部品	2
C. レースのために取り外さなければならない部品	2
D. レースや安全確保の為にのため、確認・改造・変更・維持・取り付け・免除改造が義務付けられる事項	2・3
E. レース運営のために改造、変更、取り付け、維持が義務付けられる事項	4
F. 燃料	4
G. 冷却水	4
H. テレメトリー	4
I. エアクリナー	4
J. バッテリー	4
K. 終了車検の実施	4
ビジュアル・アイデンティティ	5
A. レーシングスーツ	5
B. 車両グラフィック	6

シリーズランキングの導入

Ninja Team Green Cupは、2023年度からシリーズランキングを導入する。シリーズランキングは全5戦のうち4戦の有効ポイント制とし、1大会で獲得したポイントの上位4大会が有効となり、ポイントランキングへ反映される。各レースの順位(クラス1、2の総合順位)より下記表の通りポイントが与えられ、シリーズ中に得たポイントを合計し、最多獲得ポイント者をシリーズチャンピオンとして表彰する。(年間チャンピオンの翌年のゼッケンは「1」となる)ポイントが同数の場合は、選択された4戦のうちレース順位の高い順、次にその高い順位の回数順となり、全て同位同数の場合は同順位でのランキングとなる。

なお、レースは参加者の技量に合わせ、下記の通りクラス1とクラス2に区分し、各クラス別に1位から3位の入賞者を表彰する。

1レースの獲得ポイント数

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
ポイント	20p	18p	16p	15p	14p	13p	12p	11p	10p	9p
	11位	12位	13位	14位	15位	16位	17位	18位	19位	20位
	8p	7p	6p	5p	4p	4p	4p	4p	4p	4p

※ 15位以下の完走者全てに4ポイント与える。

参加クラス

	参加資格	ゼッケンカラー
クラス1	●クラス2以外の方。 * 初めて参加の方 * レース経験の少ない方 * 久しぶりにサーキットを走る方 など	ベース: 黒 数字: 白 23
クラス2	●MFJ選手権で入賞およびポイント獲得経験のある方。 ●Ninja Team Green Cupで総合1~3位に入賞経験のある方。	ベース: 赤 数字: 白 23

※クラス1の参加者が、総合で1~3位に入賞した場合は、次回からクラス2となる。

※クラス2に区分された参加者は、クラス1に戻ることはできない。

※クラス1の参加者で、あきらかにクラス2のレベルであるとレースディレクターが判断した場合にはクラス2に区分される。その判断基準は以下の通りとする。

- 予選でクラス1の参加者が、クラス2の上位2/3(端数は切り上げる)のベストタイムの平均を上回った場合はクラス2と判断する。尚、予選でクラス2に区分されたクラス1の参加者は、各ゼッケンのベースの色と数字を貼り替えるか、全てのゼッケン番号の横に直径5cm以上の赤色のマーキングをしなければならない。
- 決勝レース中においても、クラス1の参加者が、クラス2の上位2/3のベストタイムの平均を上回った場合には、正式結果にてクラス2に区分される。順位もクラス2の順位となり、クラス1の表彰対象とはならないが、その順位での獲得ポイントはそのまま与えられる。(参考: 上位2/3とは、6台なら4位まで、7台なら5位まで、8~9台なら6位まで、10台なら7位まで)

クラス別表彰(入賞・賞典)順位基準

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位
クラス1	★	★	★	-	-	-
クラス2	★	★	★	-	-	-

※クラス1・クラス2それぞれ参加台数に関わらず、1位から3位が賞典対象となる。

Ninja Team Green Cup

車両規則

参加者は本稿の規則に沿った競技車両を準備することとし、本規則書と各サーキット施設から発行される特別規則書の2つの内容を理解して参加すること。

カテゴリー

ワンメイクスポーツプロダクション

一般市販されるKawasaki Ninja ZX-25R / SEをベースとしてレース用に安全上必要な改造を施された車両。

出場車両

Kawasaki Ninja ZX-25R / ZX-25R SE

2021年以降の**日本国内仕様**の市販車に限る。

排気量

排気量区分

250cc / 4ストローク / 4気筒

マフラー及び音量

①純正マフラーまたはJMCA認証プレートが貼り付けられ公道走行が認められた状態から加工等がされていないマフラーであること(取り付けステーを除く)。

②排気ガス対策装置の取り外しは禁止する。(エンジン外部に装備されたパイプチューブ類を取り外し、回路を閉塞することも禁止する)

③主催者はレース期間内に音量測定を実施することがあるので、指示された場合は音量の確認を受けなければならない。

出場要件

出場車両は道路運送車両の保安基準に適合し一般公道を走行可能な状態を保たれていなければならない。ただし、出走時は「仕様」の項目を適用する。

仕様

A.基本仕様

以下に明記されていないすべての事項については、日本国内仕様車両が工場を出荷した時点の仕様を維持していなければならない。

B. レースの為に取り外さなければならない部品

①①同乗者用フットレスト(ブラケットを含む)。ただし、マフラスターとして使用された場合は除く ②公道用ナンバープレート

C. レースのために取り外しても良い部品

①①バックミラー(取り外さない場合はテーピングすること)。取り外す場合は、専用化粧ボルト(品番92001-1034 ×4個使用)を推奨する。
②②グラブレール(リヤサイドグリップ) ③③サイドスタンド(ただし、D-7を確認)
④④灯火類(ただし、D-8を確認) ⑤⑤フットレスト(ステップ)のバンクセンサー
⑥⑥ホーン

D. レースや安全確保のため、確認、改造、変更、維持、取り付け、免除が義務付けられる事項

1) ワイヤーロック

エンジンオイルドレンプラグ、フィルターキャップ及びオイルフィルターの取り付け箇所は、ワイヤーロックが必ず施されていなければならない(ワイヤーロックするための穴あけ加工、オイルフィルターに金属製のホースバンドの装着は認められる)。①専用オイルフィルター用ホースバンド(品番J-4317-303-606)
②専用オイルドレンボルト(品番J4317-105-1203) ③専用オイルフィルターキャップ(品番J-4317-208-23914)の使用を推奨する。

2) 燃料タンクキャップ及びオイルキャップ

燃料タンクフィルターキャップ及びオイルフィルターキャップは閉じた状態で漏れないようになっていること。

3) エアクリナーボックス

競技前にエアクリナーボックス内は、オイル・ガソリン等を空にしておくこと。

4) ラジエタースクリーン

取り付けは認めるが、外気温が30℃を超える場合、レースディレクターより取り外しの指示が出る場合がある。

5) リヤスプロケットガード

①チェーンとリヤスプロケットの間に、身体の一部が誤って挟まれることのないように、リヤスプロケットガード(品番J4120-K25731)、または同等品を取り付けなければならない。

②ガードはスプロケットとドライブチェーンの噛合部をカバーし、最低2mmの板厚とし、その材質は、アルミニウム合金、頑強な樹脂製(カーボン、ケブラー製は除く)も認められる。

③取り付け方式はスイングアームにボルト・オンとして安易に脱落したりしないよう確実に固定すること。

6) ブレーキレバーおよびクラッチレバープロテクション

①他の車両と接触した場合等にブレーキレバーが作動しないようにブレーキレバープロテクション(品番J4317-204-2159を推奨)の装備を義務付ける。ブレーキレバープロテクションはスロットルグリップの作動に支障をきたさないよう、確実に取り付けること。

②クラッチレバープロテクションの装備も認められるが、取り付けない場合は、純正のバーエンドが装着されていなくてはならない。

③レバープロテクションの材質は、樹脂製(ただしカーボン、ケブラー禁止)または、アルミニウム製のもので、最大幅は、取り付け部を含めて左右のグリップラバーエンドから50mm以上突出していないこと。形状は自由とするが、鋭利な部分やエッジが無い状態で、取り付け方法は片持ちタイプに限定される。

7) サイドスタンド

サイドスタンドは、出走前に取り外すことを推奨するが、取り外すことが困難な場合は、走行中に展開しないよう確実に固定されていなければならない。サイドスタンドの固定には、A-TECH製サイドスタンドプレート(品番J-4120-K25931)の使用を推奨する。

8) 灯火類

ヘッドライト、テールランプなどの灯火類は安全のため取り外すことを推奨するが、取り外すことが困難な場合はそのままでも良い。ただし、ウインカーとテールランプは転倒、破損時の飛散防止のため、バックミラーと同様に確実にテーピングを施すこと。

9) レバー類

- ①ブレーキレバー・クラッチレバー(ホルダーを含む)及びクラッチケーブルの変更は認められる。
- ②ブレーキレバーに関しては、調整機構付きのものも認めるが、リモート式への変更は許可されない。
- ③ブレーキレバー・クラッチレバーの先端はボール状でなくてはならない(最低直径φ16mm)。このボールを平たくすることができるが、端部は丸みを持たせていなければならない(最低の厚み14mm)。

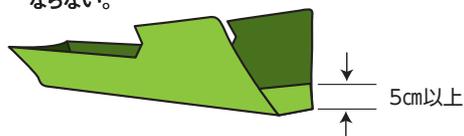
10) フェアリング(カウリング、ウインドスクリーン含む)

- ①フェアリングは出荷時の状態を維持し、アンダートレイを取り付けなければならない。専用アンダートレイ(品番J4120-K25791)を推奨する。他の製品を使用する場合、アンダートレイ用取り付け用ステーの追加が必要な場合は認められる。
- ②尖っているエッジは、少なくとも半径8mmの丸みを持たせなければならない。
- ③ウインドスクリーンは変更できるが、露出部分の先端は丸みを持たせなければならない。
- ④エンジンの破損または故障時に、そのエンジンに使用されるエンジンオイルおよびエンジンクーラント総量の半分以上(容量は下記表に示す)をフェアリング下部で保持できるアンダートレイ(オイル受け)を装着しなければならない。



	総量	1/2量
Ninja ZX-25R		
エンジンオイル	2.9ℓ	1.45ℓ
冷却水(リザーブ含む)	1.9ℓ	0.95ℓ
必要アンダーカウル容量		2.4ℓ

- ⑤アンダートレイ(オイル受け)の端部の高さは最低50mm以上確保しなければならない。



- ⑥アンダートレイの内側には、オイルを吸収する難燃性の素材が貼られてもよい。この規則を満たすための最低限の外観変更が許可される。

11) シート

シートについては、主催者公認の下記製品に限り、変更が認められる。

公認アクセサリシート

品名	品番	メーカー
スポーツシート	99994-1404	カワサキモータース株式会社
ST/RC用シートラバーベース台座セット	J4120-K25881	A-TECH
シングルシートカバー	各カラーごと	カワサキモータース株式会社

ライディングポジション調整のための最小限度の部品(パッド、樹脂類など)を追加することが認められる。

12) ドライブ・ドリブンスプロケット 及び ドライブチェーン

- ①ドライブチェーンは、一般公道で使用できる同一サイズのチェーンに限り交換することができるが、チェーンサイズの変更は禁止される。
Ninja ZX-25R/チェーンサイズ/520
- ②チェーンのリンク数はファイナルレシオの変更に合わせて変更することができる。
- ③ドライブ・ドリブンスプロケットを変更してファイナルレシオの変更は認めるが、一般公道での走行に支障がないことを条件とする。

13) レースのために変更・改造が許可される部分

- ①転倒時に車両のダメージを最小限に抑えるため、フレームにスライダーやエンジンカバーを取り付けることを推奨する。ただし、安全上、車両から突き出ている部分が、他の競技者と接触した場合に負傷の危険性がある製品の取り付けは認められない場合がある。
 - ②フレームスライダーは純正アクセサリ(品番99994-1380)または代替品を使用することができる。
 - ③純正アクセサリ以外のスライダーを取り付ける場合、スライダーの突き出し量はフェアリングの表面から基本的に20mm以上突き出してはならない。また、スライダーのRは10mmR以上とし、確実に取り付けること。
-
- ④転倒時に路面に接触する恐れのあるオイルを保持する全てのエンジンケース・カバーに樹脂製(FRP、カーボン、ケブラー、プラスチック、ジュラコン等)の2次カバーを取り付け、保護する措置を推奨する。
 - ⑤車高調整を目的としたフロントフォークの上下の取り付け位置の調整は、車両出荷時に対して、プラスマイナス2mmの範囲で変更することができる。
 - ⑥スイングアームにリヤホイールスタンド用のブラケットの取り付けは可。ただし、長く鋭角なものは安全上使用が認められない場合がある。
 - ⑦ブレーキについては、前後ブレーキパッドとブレーキフルードのみ変更することができる。

14) 使用タイヤ

- ①使用タイヤは、下記に指定したタイヤに限られる。
- ②公式予選および決勝では、公式車検時に検査を受けマーキングされたタイヤを前後1セットのみ使用できる。ただし、ウエット宣言時には、同一の指定タイヤであることを条件に、マーキング無しのタイヤへ交換することが出来る。
- ③スリップサインの出ているタイヤの使用やタイヤに加工することは禁止する。なお、レース終了後にタイヤにスリップサインが出ている場合は、ペナルティを受ける場合があるので、摩耗したタイヤの使用には十分に注意すること。
- ④グリッド及びピットレーン上でのタイヤウォーマーの使用は禁止される。
- ⑤バランスウエイトは、飛散防止の為テーピングを行わなければならない。

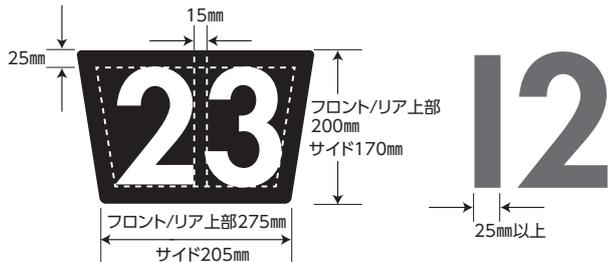
2023シーズン指定タイヤ

	メーカー	型番	サイズ
フロント	ダンロップ	GPR-300F	110/70R17M/C 54H
リヤ	ダンロップ	GPR-300	150/60R17M/C 66H

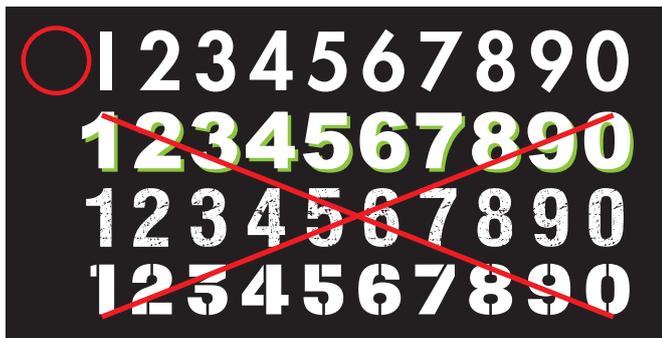
E. レース運営のために改造、変更、取り付け、維持が義務付けられる事項

1) ゼッケン

- ①車両のフロントと、カウルの両サイド、または、シートカウル上部(数字の上部がライダー側)にゼッケンナンバーを装着し、オフィシャルが、常時(走行中を含む)明白に認識できるようにしなければならない。
- ②シートカウル上部にゼッケンを装着する場合、フロントゼッケンナンバーと同じサイズでなければならない。
- ③ゼッケンベースは、カウリングに規定の寸法のスペースをつや消し色でペイントするかカッティングシート等を貼ってもよい。ゼッケンのスペースが単色でない場合は、ゼッケンベースを単色に処理した上でゼッケンを貼り付けること。
- ④ゼッケンベースの最低寸法は275mm×200mmとする。この面積は単色であること。



- ⑤数字の書体はFutura Heavyを基準とするゴシック体とする。また影付き文字など装飾された書体は認められない。



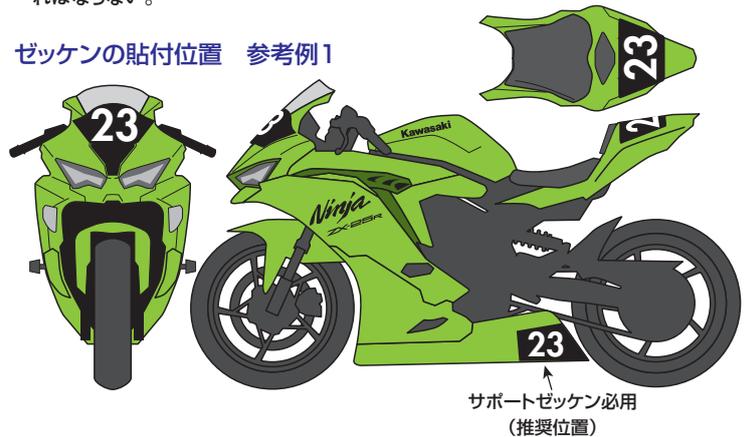
- ⑥ゼッケンの数字の間には穴を開けることができる。しかし、どのような状況でも数字自体に穴を開けてはならない。
- ⑦ゼッケンは、太陽光線の反射を避けて数字がはっきり読めるように、ゼッケンベースの色と同様につや消しで表示すること。
- ⑧数字の最低寸法は下記のとおりとする。

	フロントゼッケン	サイドゼッケン
最低高	140mm	120mm
最低幅	60mm(「1」の場合25mm)	60mm(「1」の場合25mm)
数字の最低の太さ	25mm	25mm
数字間のスペース	15mm	15mm

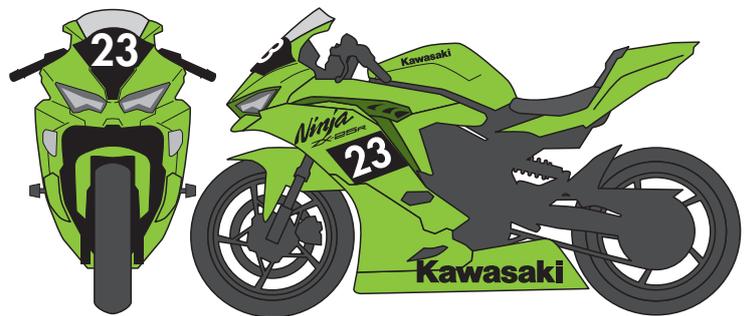
- ⑨サポートゼッケン
シートカウル上部にゼッケンを表示する場合は、アンダーカウルの左右両面にサポートゼッケンを貼り付けなければならない。サポートゼッケンの貼り付け位置は、アンダーカウル内で前後のタイヤの上端を結ぶ線の下部内とする(アンダーカウル後端部が推奨位置)。
サポートゼッケンの最低寸法は、2桁ゼッケンは幅185mm×高さ150mm、3桁ゼッケンは最低幅を260mmとする。
- ⑩正規のゼッケンナンバーと混同する恐れのあるその他のゼッケンナンバーやマーキングは、車検の前にすべて取り除くこと。
- ⑪全てのゼッケンプレートの数字の周囲には最低25mmの余白が残され、ここにはいかなる文字や模様、広告も表示しないこと。
- ⑫シートカウルへのゼッケンナンバー貼付けには[D-11])に記載するシングルシートが望ましい。ゼッケンナンバーをシート表皮に直接貼り付ける場合は、十分な脱脂を行い、走行中にゼッケンの飛散を防止する処理を行うこと。

- ⑬ゼッケンを貼る場所に注意して、車検時にアンダーカウルシートが取り外せるようにしておくこと。
- ⑭フロントゼッケンは正面部分に貼ることとするが、やむを得ず左右どちらかに貼る場合、オートポリス、スバ直入ではバイク正面に向かって右側、鈴鹿サーキット、岡山国際サーキット、モビリティリゾートもてぎは、左側に貼り付けなければならない。

ゼッケンの貼付位置 参考例1



ゼッケンの貼付位置 参考例2



F. 燃料

- ①競技用ガソリンは一般公道用の市販車に供するために通常のガソリンスタンドにて購入できるもの、あるいは開催サーキットのガソリンスタンドにて購入できるガソリンとする。
- ②競技用ガソリンには、販売時に混入されている以外の、いかなるものも添加されてはならない。
- ③大会特別規則によりガソリンの銘柄および供給方法が指定される場合はそれに従うこと。動いているモーターサイクルへ情報を伝える、または動いているモーターサイクルから情報を得ることは禁止される。

G. 冷却水

- ①水冷エンジンの冷却水は、不凍液(ロングライフクーラント:LLC)が含まれる冷却水は使用できない。水または水とアルコールの混合物(レース用として一般に販売されている冷却水)に限る。
- ②グリコールを含まない冷却水(クーラント)は使用することができる。

H. テレメトリー

動いているモーターサイクルへ情報を伝える、または動いているモーターサイクルから情報を得ることは禁止される。
P-LAPなどの自動ラップ計時デバイスは“テレメトリー”とはみなされないが、公式計時方式、および装備を妨げてはならない。

I. エアクリナー

純正品以外への交換は不可。

J. バッテリー

純正品と同じ、蓄電方式の市販品に限り交換できる。

K. 終了車検の実施

レース終了後に公道を走行する参加車両は、主催者が行う終了車検を受けなければならない。検査内容は主にテーピング処理の除去、バックミラーの取り付け確認、タイヤのエア圧力値、ドライブチェーンの伸び確認、測定器の取り外し確認を行う。

ビジュアル・アイデンティティ

A. レーシングスーツ

- ①レース参加者は本規則指定のレーシングスーツを着用しなくてはならない。ブーツ、グローブは指定はしないが、破れやほつれが無い革製ものでモーターサイクルレースで使用できる製品でなければならない。
- ②指定のレーシングスーツは表の通りとする。
- ③オフィシャルレーシングスーツの基本グラフィックは下記に示す物とし、基本ラグラフィックを変更することはできない。また、型番が同じであっても下記に示す基本グラフィック以外の物はオフィシャルレーシングスーツとしては認めない。
- ④レースで使用するレーシングスーツには、以下に挙げるワッペンを貼り付けることは禁止する。
 - ×Kawasaki以外のオートバイメーカーのロゴおよび社名(個人名の場合を除く)
 - ×大会協賛メーカーに競合する他メーカーのロゴおよび社名
 - ×大会協賛メーカーに競合する他メーカーのロゴおよび社名
 - ×著しく公序良俗に反する内容物
 - ×大会イメージ上、レースディレクターが適当でない判断した物
- ⑤レースディレクターが必要と認めた場合は、ワッペンやロゴ等をガムテープ等で隠蔽するように命じることがある。
- ⑥その他、レースディレクターが認めた個人スポンサーなどのワッペンをレーシングスーツに貼り付けることは許可される。
- ⑦レーシングスーツ内には、CE規格(EN1621-2[Level1またはLevel2]適合品)の脊柱プロテクションと、胸部を保護するチェストガード(CE規格:EN1621-3[Level1またはLevel2]適合品)を装着しなければならない。尚、エアバッグ一体式でエアバッグ本体にCE規格[EN1621-2]適合品の脊柱プロテクション、CE規格[EN1621-3]のチェストガードが装備されている場合は免除される。
- ⑧ヘルメットは、外観に樹脂部分に至る衝撃跡やスライド痕がないもので、MFJが公認した製品(MFJ公認マークは貼付されているもの)を使用しなければならない。

2022年発売レーシングスーツ



RS-タイチ
GPWRX NXL307BLK
GRN TYPE-C
型番 JNXL307SP-XXXXXX*3



RS-タイチ
GPWRX NXL307BLK
WHT TYPE-D
型番 NXL307 GP-WRX*4

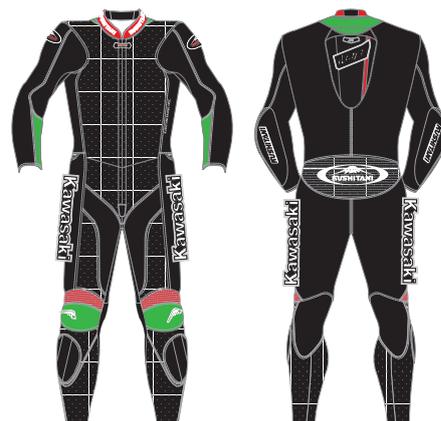
*3: 型番の末尾はサイズ表記、カラーはブラック&グリーンの指定カラー
*4: オフィシャルレーシングスーツ TYPE-Dには純正品番の型番は設定しない。

2023年発売レーシングスーツ



クシタニ
オフィシャル
クレドレーシング
K-0084XXK

レンタルレーシングスーツ



クシタニ
K-0065XXK

Ninja Team Green Cup 指定レーシングスーツ

2021年発売レザースーツ



RS-タイチ
GPWRX SP TYPE-A
型番 NXL305SP-XXXXXX*1)



RS-タイチ
GPWRX TYPE-B
型番 NXL305 GP-WRX*2

*1: 型番の末尾は、M、MW、L、LW、XLのサイズ表記、および枝番号。
*2: オフィシャルレーシングスーツ TYPE-Bには純正部品の型番は設定しない。

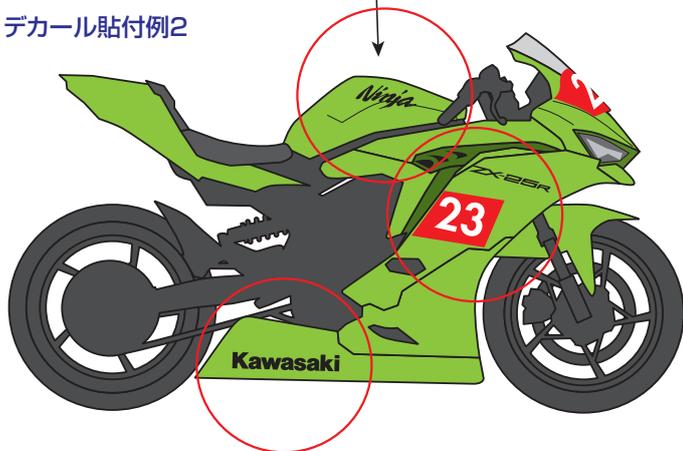
B. 車両グラフィック

- ① 車両を塗装できるが、塗色を変更した場合は、指定されたデカー（「Ninja」・「Kawasaki」・「ZX-25R」各1枚）を、車体両サイドに識別出来るように貼り付けること。
- ② 外装部品（フェンダー・カウリング）には、レースディレクター並びに、主催者指定の協賛企業から供給されるステッカーを指定された位置に貼り付けなくてはならない場合がある。※詳細は各サーキット発行の大会の特別規則書を参照。
- ③ その他、大会により、協賛スポンサーの変更あるいは追加されることがある。
- ④ 車両グラフィックのイメージを維持し、協賛企業と競合しない個人スポンサー等のステッカーを貼り付けることが認められる。
- ⑤ 以下に該当するステッカーおよびグラフィックについてはレースディレクターが、除去もしくはカッティングシート等で隠蔽を指示する場合がある。また、これに従わない場合は審査委員会から参加を取り消される。
 - × Kawasaki以外のオートバイメーカーのロゴおよび社名（個人名の場合を除く）
 - × 大会協賛メーカーに競合する他メーカーのロゴおよび社名
 - × 著しく公序良俗に反する内容
 - × 大会イメージ上、主催者が適当でないと判断した物

デカー貼付例1



デカー貼付例2



その他

- ① Ninja Team Green Cupにおいて、ライダー以外の同伴者等が、ピット前やスタートグリッドにて整備作業を行ったり手伝う場合は、MFJピットクルー（Aタイプ、Bタイプのどちらでも可）ライセンスが必要になります。
- ② アクセサリーパーツとして、グリップヒーター、その他レースディレクターが認めた製品の装着は認めるが、安全性を損なうものであってはならない。

大会協賛メーカー一覧

